

Title	雑報
Author(s)	
Citation	地球 (1937), 27(4): 317-322
Issue Date	1937-04-01
URL	http://hdl.handle.net/2433/184672
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

主義的工業經營への移行を示してゐる。而して Lodz 紡績工業地域の發生に對しては自然的な前提は經濟政策に比して僅かな意義しか有しない。Bieltitz 紡績工業地域の出現は好都合な交通上の位置に歸せられ、動力に制約されてゐる。たとへば Lodz 紡績工業地域の發生がロシアの經濟政策的な處置を基礎としたにしても、原料拘束性と傳統拘束性(工業の傳統は國外からの移住者と共に波蘭に移植されたと云ふ意味で)は一定の役割を演じた。外國の原料が加工され、機械が採用されると共にこの地理的要素はその意義を全く失つてしまつた。現在では炭坑に比較的近いことが唯一の強味である。

Bialystok の紡績工業は經濟政策から發生した。

波蘭の紡績工業は殆ど外國の原料に依存して居り、その原料拘束性は全く存在しない。

波蘭の紡績工業の設立者は獨逸人の移住者であり、彼等はそれを手工業から資本主義的な大工業に迄導いた。従つて波蘭の紡績工業は植民地的特色を有し、現在も尙異國的な性質を擔つてゐる。

以上筆者は Goldberg の論文に就いて其の構成と結論を簡単に述べてきた。彼の工業現象の取扱ひ方は生産費の分析から議論を進めて行くのでなく、現實の工業の分布から地域を劃定しそれに就いて發展史的に追究して何故其處に存在するかと云ふことを解釋しようとしてゐる。即ち國民經濟學は Sein を研究し、經濟地理學は Gewordensein を研究すると云ふ

Dietrich の考へ方に彼は従つてゐる。この態度は Nikolaus Creutzburg の經濟地理學の解釋と軌を一にして居り、Theodor Kraus によれば地理的經濟學とされてゐる。

本書は僅か四十二頁の小冊子に纏められてゐるのであるが波蘭の經濟事情の變遷を知るのには適當な書物であると思はれる。文化的な水準の低かつた波蘭、四周の強國に壓迫されて一度は獨立國としての存在をすら失つた波蘭に如何にして紡績工業が起り、現在迄續いて來たかを知ることには興味が深い。殊に獨逸人の移住、ロシアの關稅政策、農奴の解放が自然條件よりも紡績工業の發展に密接な關係をもつてゐると云ふことは自然條件を過大に見勝ちな我々の注意すべき實例である。彼は波蘭の各地域の紡績工業を動力拘束的等の言葉で特徴附けてゐるがその條件が他の條件に比して持つ力の強さをもつと明確に示して欲しかつた。勿論これは生産費の分析から入つた方がたとへば限度はあつてもより嚴密に出て來るであらう。此處では單に必要な一條件を挙げたと云ふのに留つてゐる。

地圖は僅か一葉しか挿入されてゐないが文章も平易であり波蘭地方の事情を知らうとする者にとつては一讀する價值は充分にある。(安藤)

雜 報

○大阪市北郊千里山貝層の化石

大阪市の北郊千里

山住宅地の南西約一・三軒。榎阪と寺内との兩部落のほゞ中央に青色粘土層の露出があつて、走向北五〇度西、傾斜南西に向ひ二〇度、保存惡しきも海棲貝化石を含む。多くは貝殻の石灰質が溶解し去つて粘土中に印像のみを残して居る。本化石層は河田學士の發見にかゝるものであつて、同氏の採集にかゝる化石につき黒川氏は次の七種を鑑別した。

Cardium muticum Ree. (移多) *Raeta* sp.,
Theora lubrica Gould, *Cyclina sinensis* Gmelin,
Anadara (Arca) sp., *Anodontia bialata* Plisbry,
Dosinia cf. *angulosa* Römer,

以上の化石の他に種名の不明なるもの二—三種あり、更に入念に採集せば多くの化石を採集し得る見込みがある。これ等の化石層には化石植物の果實をも含む。以上千里山貝層の化石の種類、産狀を見るに西宮貝層に酷似し、恐くは同一の層位であらうと思はる。千里山貝層の青色粘土層は褐色の砂礫層によつて不整合に被覆されるらしく、河田氏も豊能郡熊野田村東方約五〇〇米の切り刻で不整合を観察した。不整合線以下の青粘土、砂の互層は大阪市内では山根博士が大坂基磐層と呼ばれた下部洪積層、又は神戸西宮方面の長田層、西宮層等に對比さるべく、不整合線以上の砂礫層は大阪市の上町層、西宮附近の上ヶ原層其他六甲山麓の礫層に對比さるもので上部洪積層と見做すべきであらう。(上治)

○ポートサイドの通過貿易

毎年スエズを通過する

船は五、六千隻三千万噸であり、その近東地中海方面への出入数は毎年千五、六百隻である故に單に埃及の輸出港でなく中繼港として各地の物資が集中するのみではなく、多數船舶の石炭、燃油、食料品、雜貨の通過貨物として需要が多い。

一九三五年中の輸出入貨物及通過貨物の總噸數は合計四百二萬二千噸に上り、其統計は左の如し。

種別	一九三三年	一九三五年
輸 入		
一般貨物	一一〇、三四一噸	一四四、三〇六
石炭燃油	一〇〇、七六三	一九四、二八三
輸 出		
一般貨物	一九八、三二一	二九九、三七八
石炭燃油	三八三	六七
通過輸入		
一般貨物	一、三四一、四八二	一、四一九、七九二
石炭燃油	一、二一八、七三七	一、四三七、五五五
通過輸出		
一般貨物	一、一〇一、一〇〇	一、四〇四、三〇三
石炭燃油	一、四〇七、〇三九	一、三一七、四六〇
計	三、四〇七、〇〇〇	四、一一七、一四四

蓋しこの港は東西交通の要點だから、この港の特色として船舶に對する石炭燃油の供給を第一とし食料品其他の供給を第二、さうして一般貨物の中繼をするのであるが、當港に集中する燃料は塊炭マズウト炭、ディゼル油、及瓦斯油で石炭六十七萬噸、油六十三萬噸に上り、石炭は英國品九割、獨逸、土耳其及波蘭から入り、燃油はルーマニア、イラン、ペネエ、ラ、蘭領東印度、ロシアから入る、さうして近年石炭は

漸減し油が増した。もとは石炭九十萬噸にも上つたが、それが六十萬噸になつて、ディゼルマズウト油が七十萬噸を越えんとする、これはモーター船の増加した結果であるが、運河通過のモーターは總船數の三割内外であるから、汽船にも石油が入るのである。同時にこの港ではシエル系、米國系及コリー・ブラザース等の石油會社が露油などと競争して安價に供給するために、モーターは自然當地で多量に買ふわけである。

食料雜貨では通過貨物の爲、税關構内に主税地があるから輸入業者はそこに倉庫をたてゝあるが石炭石油と共に多量のストツクをつくつて、必要に際し直に船舶に供給する仕組になつてゐる。其品目は麥粉、砂糖、果實を主とし茶、珈琲、酒、烟草、罐詰等食料品之に次ぐ。さうして船舶供給は毎年十五六萬噸に上る。

輸入貨物で再仕向は二十萬噸程に上り、パレスタイン第一シリヤ、キプロス、ヘデヤス各これにつき、歐洲では英國、伊太利、希臘、トルコ、フランス、ルーマニア方面に取引がある。アメリカ、アフリカ向の貨物は極めて少い。

○マルディブ群島 コロンボから郵船で出て出帆後三十餘時間でマルディブとラツカディブ群島の間、マルディブから十哩、後者から百八十哩離れた地點を通る、これが八度水道 (Eight degree channel) でエムデン、ウルフ二艦があられたところである。

マルディブは赤道から北七度六分、東經七十一度から七十四度にかけて南北約八十哩に亘り無數に點在する珊瑚礁で各島すべて環礁で、居住者のある島は其數三百に達する。

この島の附近は海床は一、二五〇呎、二〇〇呎、及五〇呎の三段になつてゐる。さうした三段丘の上に環礁がある珊瑚礁成因研究上重要な材料である。

往古よりセイロン島へ朝貢し今もサルタンは毎年九月セイロン總督へ特使を派し貢物を獻ずる、サルタンの島をマールMaléといふ全人口七萬九千人回教徒で、シンハリス語のアラビヤ化したものを用ひ、住民の六割は漁業に従事する。椰子を栽培し、その纖維で綱をつくる、これをコアローブといひ葡萄牙の人々が艦船に用ひた位で、今日もこのローブを輸出する。主として乾魚をセイロンに送くるが輸入は少い、土人の帆船で早くて五日、遅くて二十日乃至三十日を要し途中難破するらしい。マルディブの土人の帆船は十數隻は常にコロンボに入るがこれは出入が自由である。本邦人では誰もこの島に渡つたものはない、しかし明代鄭和の艦隊がセイロンからこゝを通つてアラビヤやアフリカ東岸に進んだことは疑ふことは出来ない。

○支那の陶窯業 景德鎮は江西浮梁縣を中心とし古代から支那唯一の稱があつたが不況で昭和九年には全省陶業の營業收入僅に三百餘萬元に低下、このまゝで放置せば滅亡するの恐があつたので、いろ／＼改良や補助を試み昭和十年四百萬

元に上り十一年度(民國二十五年)には六百二十萬元に達した。

往時は百數十の密元があつたが現在は百戸に減じ密の使用は半月に一回多くて二ヶ月に五回だから需要に應じきれない。

陶具製造に必要な原料は八割まで日本からの輸入で大阪の草

葉洋行の九江支店を経るとの事である。但し金水や藍色のご

ときものは米國より輸入する。民國になつて古來の名密は全

く破壊された、一方山東省で博山を中心に淄川、泗水、肥城

沂水等にこれ又古來からの密がある、原料としての陶土其他

が豊富なため博山白泥又は顔神磁として有名であり、昭和六

年頃までは年産額一萬三千噸八十二萬元に達し七十萬元内外

を移出した一大陶器地であつたが滿洲事變で對滿輸出が杜絶

したので今は二十一萬元位しかうれない、製品も粗惡で進歩

しない。

博山での原料は耐火粘土を焦寶石といつてこの地に豊富に

産し、青土、黃土、白藥石、白澤石の外黒藥石、紫石、砥石

石灰石、方解石、滑石、燧石等の原料がすべて附近の山地か

ら出る。土人は主に黃土、青土、白藥石、砥石及紫石を製陶

原料とし釉藥は白藥石及滑石を混合して用ひ、嘗ては本邦製

顏料が輸入された、目下は獨逸品と英國品が入る。

一萬元、硝子細工爐百五十戸年産約九萬元に減少してゐる。

○ブラジル邦人農産物 一九三六年度聖州の報告による

と農産物はブラジル全體で、前年より一割増、聖州のみで一割

五分増加で、この急激な増加は邦人の棉花への進出による。

生産價格で棉花は第一、珈琲第二である、邦人は聖州棉花生

産額の五割をしめ、珈琲は僅に六分である、邦人は棉花の外

養蠶、製茶、蔬菜方面の特殊農業に活躍し、養蠶は州の六割

五分、茶葉は約九割、蔬菜一般で七割をしめる、故にその經

済的發展は年を追ふて愈々大である。

珈琲

ブラジル

一七、三〇、〇〇〇俵

四三、七五、〇〇〇圓

聖州

一〇、一〇〇、〇〇〇

二七、五〇〇、〇〇〇

邦人

七五〇、〇〇〇

一八、七五〇、〇〇〇

綠棉

ブラジル

三三〇、〇〇〇、〇〇〇担

三三〇、〇〇〇、〇〇〇

聖州

一、二〇、〇〇〇、〇〇〇

一、二〇、〇〇〇、〇〇〇

邦人

九〇、〇〇〇、〇〇〇

八〇、〇〇〇、〇〇〇

豆

ブラジル

一三〇、〇〇〇、〇〇〇俵

六〇、〇〇〇、〇〇〇

聖州

三、五〇〇、〇〇〇

一七、五〇〇、〇〇〇

邦人

一五〇、〇〇〇

七五〇、〇〇〇

秬米

ブラジル

二〇、九〇〇、〇〇〇俵

九四、〇五〇、〇〇〇

聖州

九、〇〇〇、〇〇〇

四〇、五〇〇、〇〇〇

邦人

六〇〇、〇〇〇

二、七〇〇、〇〇〇

葡

ブラジル

六、〇〇〇、〇〇〇担

五〇〇、〇〇〇

聖州

五五〇、〇〇〇

四、五〇〇、〇〇〇

邦人	三六、二五〇圓
ブラジル	一〇〇、〇〇〇盾
聖州	八〇、〇〇〇
邦人	七五、〇〇〇
	三三、〇〇〇

この他馬鈴薯、柑橘、葡萄、トマト、甘藷、瓜類を合計してブラジル年額十四億圓のうち聖州に六億二千五百萬圓の産があり邦人は一億二千五百萬圓を生産してゐる、これが在留二十萬人の活動の賜である。

政府は一九三〇年の珈琲不況以來經濟の合理化をはかり、棉花の保護が叫びだした際に日本人の多くはこれに轉向し、カンピナース農事試験場の種子によつて改良をはかつた（一九三六年以後）そこで過去六年間に棉花採種圃は三十三倍し適種を全國に配布することを企てた、エキスプレス種又はデキサス種の配布を主とし將來いよ／＼棉花の發達をはかるのでこれはやがて北米合衆國の棉花と競争的位置に立つものともみられてゐるのである。

○米國での大豆

マメは眞芽である。我國では神代からの主要食品であると共に、東洋人の誇るべき農産物であつたが、最近になつて西洋人にその眞價がしられてきた、世界の多数の大學や各國政府及工業家の熱心な研究で其用途は驚くべく廣く多種多様であることが明になつて「奇蹟的の豆」であるときへいはれてきた。かくて東洋人の豆であつたものが現今では食用の外に醸造用、自動車部分品製造用、ゴム代用、石

鹼製造用、ペンキ油、ワニス油等多數に上り今後多くの工業用品となるから農家にとつては福音である。米國で大豆、大豆油が用ひはじめられたのは最近のことで一九二九年大豆油七十五萬封度を用ひたに止まつたが一九三五年には九千百十六萬封度に達しペンキに用ひた大豆油は一九三五年千三百萬封度に上り、石鹼、リノリウム、インキ製造等に用ひる量も増加してきた。農業では一九一七年に五萬噸であつたのが一九三五年に二百六十九萬千噸に増加し、其栽培の目的も一九一七年迄は莢豆をとる程度であつたが一九二四年以來本作となり、滿洲から輸入したかはりに遂に歐洲へ大豆を輸出する迄に進展した、即ち一九三四年七千萬ブッシェルを輸出した。

大豆は種類によつて殆どすべての氣候風土に適するから土壤の良否よりも正しき品種の選擇が必要だといふので、米國政府は大豆種を日本・支那・朝鮮・滿洲・臺灣・爪哇・スマトラの各地から二千種類を採集して是を米國各地の適否に試み其中四十五種を栽培してゐるのである、この事は日本の農家も見習はねばならない、米國での最適地帯は玉蜀黍地帯であるオハイオ、インデアナ、イリノイ、アイオワ、ミズーリ、北カリフォルニア、南東地方に作られ一九三五年作付反別二、六九一、〇〇〇噸産額三九、六三七、〇〇〇ブッシェルに達した。最も多シイリノイ、インデアナ、アイオワ三州はIllini, Manchus, Dunfield, Mansony, Laredo, Ebony, Virginia, Usay, Beking 等〇品種で滿洲種が其名を保つてゐる、大豆には病菌や害虫がな

い。栽培期間中一回の消毒で足りる、たまに兎や蝗の害があるがイリノイでは一哩當三十乃至四十ブツシエルを普通の收穫高とする。

但し大豆も産地、氣候、種類で成分に差があるもので滿洲及米國産は油及蛋白質が日本産よりも多い。同じ米國産の中にも差がある、大豆の化學的成分は益々研究され大體に油の少いものは蛋白が多い、油が多ければ蛋白は少い其成分は

	最小割	最大割	平均割
水分	五・三	九・四	八・〇
石灰	三・三	六・五	四・六
脂肪	一三・五	二四・二	一八・〇
纖維	二・八	六・七	三・五
蛋白	二九・六	五〇・三	四〇・〇
ペントールサン	三・七	五・四	四・四
糖	五・六	九・六	七・〇
澱粉	四・六	八・七	五・六
有機酸	一・五	二・八	一・七

ボタシウムオクサイド 二・〇 二・六 二・三
カルシウムオクサイド 四・四 〇・六 〇・五
マグネシウムオクサイド 〇・四 〇・五 〇・五
重量千粒 四〇瓦 二四八瓦 一五〇瓦
平均一噸から二百五十封度の油と千六百封度の大豆粕がとれる、一九三五年大豆から臭氣をぬくことに成功して歐人の食用にのぼることになった、食用として蛋白の多いことは他の一般食物にまさり、ウイタミンA、B、C、Dが含まれてゐる、故に小麥粉八大豆粉二でつくつたパンは理想的のものである。大豆乳は牛乳と成分の差がない、育兒に適するといひ、ペンキ油にすると變色を防ぎ耐久力が強い、大豆の膠も亦耐水力が強い、米國政府の郵便切手の糊は大豆糊である、革の油氣を保つにも用ひ、菓子製造に用ひ、綿布の仕上に用ひる。リノリウムに大豆蛋白質糊を用ひ、レンチン製造に供する。いづれにしても大豆の利用は單に食用のみではない、工業原料として價值がある、我國にも大豆工業が單に油房程度に止まらないやうにしなければならぬ。